

県民文化普及事業

# 2018 ふれあいの祭典 記録書



兵庫県  
公益財団法人 兵庫県芸術文化協会

## 平成30年度「-ふれあいの祭典-県民文化普及事業」一覧

事業名	開催日	開催地
ひょうご演劇祭	H30.8.25(土)	西宮市
ひょうご邦楽の祭典	H30.9.8(土)	西宮市
ひょうご吟剣詩舞道祭	H30.9.9(日)	西宮市
和太鼓フェスティバル in 兵庫	H30.9.9(日)	稻美町
アンサンブル・フェスティバル兵庫	H30.9.16(日)	西宮市
音楽とダンスの祭典 in Hyogo	H30.9.17(月・祝)	神戸市
ひょうごプラスフェスティバル	H30.9.17(月・祝)	西宮市
ミュージック・グランプリ・フェスティバル in 市川	H30.9.23(日)	市川町
ひょうご名流舞踊の会	H30.10.7(日)	神戸市
ひょうご洋舞フェスティバル	H30.10.7(日)	西宮市
詩のフェスタひょうご	H30.10.14(日)	神戸市
ひょうご大茶会	H30.10.14(日)	神戸市
ひょうご日本民謡フェスティバル	H30.10.14(日)	神戸市
全国手工芸コンクール in ひょうご	H30.10.18(木)～21(日)	神戸市
兵庫県いけばな展(神戸展)	H30.10.25(木)～30(火)	神戸市
ひょうご俳句フェスティバル	H30.11.23(金・祝)	神戸市
兵庫県いけばな展(三木市会場)	H30.11.24(土)～25(日)	三木市
兵庫県交響楽祭	H30.11.25(日)	たつの市
兵庫県川柳祭 in 神戸	H30.12.2(日)	神戸市
ひょうご合唱の祭典	H30.12.2(日)	篠山市
兵庫短歌祭	H30.12.8(土)	加西市
兵庫ふれあい美術展	H31.1.4(金)～6(日)	神戸市
ひょうご民俗芸能祭 in 赤穂	H31.2.17(日)	赤穂市

会 場	兵庫県政150周年拡充事業
県立芸術文化センター 阪急中ホール	幕末から明治初期の兵庫・神戸を舞台に上演
県立芸術文化センター 阪急中ホール	和装で踊る京小町踊子隊と邦楽のコラボレーション
県立芸術文化センター 阪急中ホール	兵庫ゆかりの歴史上人物が活躍する「兵庫の風 黎明編」を上演
稻美町立文化会館 コスモホール	全国的に活躍しているプロ太鼓集団の出演
県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	神戸に伝わる一弦琴・須磨琴の特別演奏
神戸常盤アリーナ(県立文化体育館)	—
県立芸術文化センター KOBELCO大ホール	公募により結成する兵庫県政150周年吹奏楽団が出演
市川町文化センター ひまわりホール	—
神戸国際会館 こくさいホール	兵庫五国の魅力を古典演目で表現
県立芸術文化センター KOBELCO大ホール	兵庫出身者による振付・演出のバレエ作品を兵庫ゆかりのダンサーが上演
ラッセホール	被災地熊本の詩人による講演会と対談
兵庫県公館	県内で活動する各流派の歴史・流儀等パネル紹介
新長田ピフレホール	兵庫県出身のプロ民謡歌手等による舞台演出
兵庫県民会館 アートギャラリー	過去の文部科学大臣賞受賞者・当コンクール審査員の作品展の開催、150周年記念賞の贈呈
大丸ミュージアム(神戸)	全国の若手いけばな作家が兵庫県オリジナルの菊や県特産品のカーネーションを花材として出展
神戸市立新長田勤労市民センター	—
三木市立市民活動センター	県立播磨農業高校の生徒が育てた花を花材として、子供いけばな教室を開催・展示
赤とんぼ文化ホール	—
兵庫県民会館 けんみんホール	川柳祭30年間の入選5,000句の作品集を発行
たんば田園交響ホール	関西で活躍するプロ合唱団と出演団体による合同合唱
加西市健康福祉会館	150周年記念シンポジウム「短歌・俳句・現代詩のあいだ」の開催
原田の森ギャラリー	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真各部門に150周年記念賞を贈呈
赤穂市文化会館 ハーモニーホール	播磨地域をはじめ県内の伝統文化・伝統芸能を紹介する「民俗芸能写真展」の開催

# ひょうご演劇祭

開催日 8月25日(土)

会場 県立芸術文化センター 阪急中ホール

演劇「幕末青春伝」を公演。

幕末に日本の未来を見つめ近代化に力を注いだ若者達の志と、そんな若者達を身分や藩にこだわらず受け容れ、教育を行おうとした勝海舟の崇高な姿勢を通して、私たちがこれから世界とどう向き合っていくのかを考え、また明日を生きる活力となるような舞台を創造することができた。

兵庫県政150周年の節目に、多くの県民の方々と共に、地域文化の発展に寄与できる活動となるよう、関西で活躍するキャスト・スタッフが終結し活気ある舞台づくりを行うことができた。

●演目

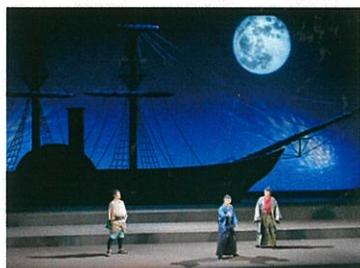
「幕末青春伝」

●出演

劇団自由人会 仁科芳美 他13名

●事業運営担当

ひょうご演劇祭実行委員会(劇団自由人会) TEL:078-784-3701



# ひょうご邦楽の祭典

開催日 9月8日(土)

会場 県立芸術文化センター 阪急中ホール

県内の邦楽愛好家に演奏する機会を提供することで、団体間の交流を深めるとともに、多くの県民に鑑賞していただき、芸術文化活動の発展と地域文化の振興を図ることを趣旨に開催した。

台風21号によって神戸以東に多大な被害が有り、また前日の豪雨により開催自体危ぶまれる中でしたが、かなりの来場者により盛会裏に終演を迎えた。

特に兵庫県政150周年記念での京小町踊り子隊とのコラボは好評でした。全体では古典から新曲、各団体の地域的な色合いも加味して色々な層の皆様に楽しんで頂けた。

ワークショップは時間が短くなったが次も是非来たいという方も多く、より充実した体制で迎えたい。

●出演

①京小町踊り子隊(ゲスト京都) ②兵庫県視覚障害者福祉協会音楽部 ③神戸女子大学箏曲部  
④堀越社中(姫路) ⑤生田流貴奏会(明石) ⑥宮城会新箏会(明石) ⑦琴唱会 ⑧一般財団法人日本当道音楽会中朋会 ⑨美和の会 ⑩神戸研箏会 ⑪阪友会 ⑫雅会 ⑬山田流関西箏楽会  
⑭新絃社 ⑮西宮三曲協会(西宮) ⑯尼崎邦楽文化協会(尼崎)

●事業運営担当

ひょうご邦楽の祭典実行委員会(兵庫県箏絃連盟事務局) TEL:078-231-1731



# ひょうご吟剣詩舞道祭

開催日 9月9日(日)

会場 県立芸術文化センター 阪急中ホール

吟剣詩舞道を広く理解していただくため、「ひろげよう心の和を!!」をサブテーマに県内各地の吟士、剣詩舞道家が一堂に集い、吟剣詩舞道祭を開催した。

合吟コンクールにて日頃の練習の成果を発表したほか、優秀吟士の独吟の発表、剣詩舞の発表、今年は兵庫県政150周年を記念した企画構成番組「兵庫の風—黎明編一」を発表し、祭典を通じて県内吟友の友情の輪を広げ、文化の高揚と振興を大いに図ることができた。

●出演 (18会派25団体)

①吟道損補流総本部 ②(公社)関西吟詩文化協会兵庫県連合会 ③日本國風流兵庫県連合会 ④水月流西楽吟道会 ⑤紫洲流日本明吟会兵庫本部 ⑥日本樽美流吟詠会本部 ⑦紫曉流日本吟獎会総本部 ⑧日本国桜流詩吟頌徳吟詠会 ⑨吟道完心流本部 ⑩吟道関心流兵庫県本部 ⑪吟道哲山流興風吟詠会総本部 ⑫(公社)日本詩吟学院岳風会兵庫県連合会 ⑬吟道賀堂流総本部 ⑭吟道哲尊流総本部 ⑮吟道清峰流猶興吟詠会総部 ⑯久坂流実翁吟社兵庫県本部 ⑰吟道瑞鳳流 ⑯晴旭流吟詠会

●受賞者 男子の部6位、女子の部6位までが入賞

◆男子の部優勝 吟道賀堂流総本部 ◆女子の部優勝 (公社)日本詩吟学院岳風会兵庫県連合会

●事業運営担当

ひょうご吟剣詩舞道祭実行委員会(兵庫県吟詠連盟) TEL:078-361-3336



# 和太鼓フェスティバル in 兵庫

開催日 9月9日(日)

会 場 稲美町立文化会館 コスモホール

地元稻美町内の出演団体(稻美あらぐさ、つくし太鼓、稻美野万葉太鼓会、稻美町三曲協会)はこのフェスティバルへの出演が決定した後、練習を重ね「良い演奏が披露できるように」目標に向かって進むやりがいを得ることができた。児童とその保護者も張り切って太鼓を打ち、団体内が若返り非常に活気となった。

当日は兵庫県太鼓連盟の指示、指導のもと、出演団体の一員として規則を守り、皆で協力し合う大切さも経験できた。ゲストのプロと太鼓大元組のレベルの高い演奏に刺激を受け、最後の送り太鼓で地元児童がプロと共に演じたことは、何事にも変えがたい貴重な経験となった。

観客からは、各団体特色のある太鼓のパフォーマンス、響きに「感動した」「素晴らしい」と率直な感想をたくさんいただいた。

地元の舞台スタッフ、ケーブルテレビ、司会者にも協力いただき、東播磨に根ざした企業、技術の力を活用でき、地元経済と文化の活性化にも寄与できた。稻美独特の太鼓曲「いなほ」「いなみの」を兵庫県政150周年記念の大きな舞台で演奏し、稻美的文化を発信できた。



●出演(11団体)

- ①稻美あらぐさ ②播州新宮越部太鼓 ③つくし太鼓 ④伊丹太鼓の会 ⑤稻美町三曲協会 ⑥和太鼓大元組 ⑦南あわじ市太鼓衆「蔓」 ⑧神鋼飛龍太鼓 ⑨北摂太鼓 ⑩別所ともえ太鼓会 ⑪稻美野万葉太鼓会

●事業運営担当

和太鼓フェスティバル in 兵庫稻美町実行委員会(稻美町立文化会館文化の森課) TEL:079-492-7700

# アンサンブル・フェスティバル兵庫2018

開催日 9月16日(日)

会 場 県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

本年も、県内外から29団体の申込みがあり、認知度がかなり上がったように感じた。A部門は演奏技術も数年前より一段と良くなりました。また、B部門の方々も音楽をする喜び、出演できる喜びが表情に出て、見る側も楽しいフェスティバルに成長した。観覧の申込み也非常に多く、かなりの方にお断りする状況となった。次年度以降もこのように大勢の観客に恵まれるよう、努力していきたい。

●出演

- ①カルペ・ディエムクラリネットアンサンブル ②SOUND GARDEN ③鰐寿司三重奏団 ④安松・中津留ギターデュオ ⑤アンサンブル Dolce ⑥コールぱぱふあ ⑦甲陽学院父母の会コーラス ⑧灘ゴールデンエイジコーラス ⑨クローバーエコー ⑩マリーゴールドハーモニー ⑪神戸大学附属中等教育学校アンサンブル同好会 ⑫ショスタコーヤッキ ⑬ゆづかりん ⑭AFECTRIO ⑮アンサンブルくれよん ⑯マリンバデュオ～香～

●特別ゲスト

一絃須磨琴保存会 田中 潤子

●受賞 8団体

【兵庫県知事賞】マリンバデュオ～香～

【兵庫県議会議長賞】灘ゴールデンエイジコーラス

【兵庫県教育委員会賞】神戸大学付属中等教育学校アンサンブル同好会 他



●事業運営担当

アンサンブル・フェスティバル兵庫2018(有)アートフォレスト TEL:078-367-3560

# 音楽とダンスの祭典 in Hyogo

開催日 9月17日(月・祝)

会 場 神戸常盤アリーナ (県立文化体育館)

各流派による音楽とダンスの至芸を披露する舞台を行うとともに、県民が参加できるワークショップを行い、県内の芸術文化の振興と向上に繋げた。

●出演

- オレクシーグザー・太田 吏圭子(ゲスト)  
アードバークダンスバンド(生演奏)  
兵庫県ダンススポーツ連盟会員等



●事業運営担当

音楽とダンスの祭典 in Hyogo実行委員会(兵庫県ダンススポーツ連盟) FAX:079-293-0297

# ひょうごプラスフェスティバル2018

開催日 9月17日(月・祝)

会場 県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

兵庫県吹奏楽連盟に加盟する団体の中で当事業に参加を希望する団体を募集し、その中から選ばれた出演団体及び招待団体による、吹奏楽演奏会形式のコンサート「プラスフェスティバル」を実施することで、文化の高揚と音楽振興を深めることに努めた。

また兵庫県政150年記念吹奏楽団を編成し、昨年度兵庫県芸術奨励賞を受賞された、日本フィルハーモニー交響楽団トロンボーン奏者の藤原功次郎氏をゲストにお迎えし、観客とともに参加者全員で盛大に兵庫県政150周年をお祝いした。

●出演

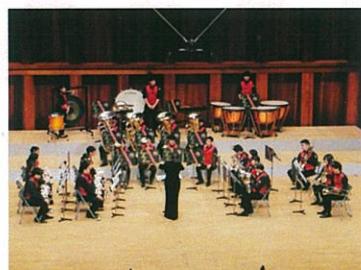
- ①伊丹市立桜台小学校 ②ちよもらんまプラスアンサンブル ③ウインドオーケストラ今津 ④高砂市吹奏楽団 ⑤県立西宮高等学校OB吹奏楽団 ⑥尼崎市吹奏楽団 ⑦甲東ヌーヴェルヴァーグ・ウインドオーケストラ ⑧神戸学院大学 ⑨Immortal Brass Eternally ⑩県立豊岡高等学校 ⑪県立伊川谷北高等学校 ⑫宝塚市吹奏楽団 ⑯兵庫県政150周年記念吹奏楽団

●ゲスト

藤原功次郎(日本フィルハーモニー交響楽団トロンボーン奏者)  
原田 恭子(ピアニスト)

●事業運営担当

ひょうごプラスフェスティバル実行委員会(兵庫県吹奏楽連盟) TEL:078-325-3006



## ミュージック・グランプリ・フェスティバル in 市川

開催日 9月23日(日)

会場 市川町文化センター ひまわりホール

当事業は、毎年、兵庫県出身で全国の音楽コンクールにおいて、優秀な成績を収められた若い音楽家を広く世に紹介することを目的として実施されており、市川町でははじめての開催となった。

中学生、高校生、一般的若い演奏家がいろんなジャンルの素晴らしい演奏を披露し、とても感動したとの感想も多く、心に残る催しになった。

●出演

- ①上原 心音(ピアノ) ②戸田 晴花(ヴァイオリン) ③樹本侑宇利(パリトン) ④大江 慧(チェロ)  
⑤脇坂 輝(フルート) ⑥田中めぐみ(ソプラノ) ⑦坂本 彩(ピアノ)

【全体演奏】

足立 勝(指揮) 森琢 磨(シンセオルガン)

●事業運営担当

ミュージック・グランプリ・フェスティバル市川町実行委員会(市川町文化センター)  
TEL:0790-26-0969



## ひょうご名流舞踊の会

開催日 10月7日(日)

会場 神戸国際会館 こくさいホール

日本の伝統文化の一つである日本舞踊に触れていただく機会として毎年開催し、子供から大人までの幅広い世代が出演した。

今年は兵庫県政150周年を記念して「兵庫五国に因み 但馬・播磨を踊る」と題して、4番組を披露した。朝から晩まで日本舞踊を存分に楽しんでいただける内容となった。

●出演

- 兵庫県舞踊文化協会 会員、会員所属の子供から大人(名取)まで主演し、17番組を披露。
- ・若柳流 ・藤間流  
・花柳流 ・坂東流

●事業運営担当

ふれあいの祭典ひょうご名流舞踊の会実行委員会(兵庫県舞踊文化協会) TEL:078-362-7086



## ひょうご洋舞フェスティバル

開催日 10月7日(日)

会 場 県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

当フェスティバルでは、県芸術奨励賞等、多数受賞歴のある貞松正一郎氏振り付けによるバレエ作品「コッペリア」を全3幕上演。

加藤きよ子氏によるモダンダンスの要素を取り入れた場面も設け、より県民に洋舞の魅力を広く知っていただく機会となつた。



●出演

IS バレエ・アカデミア/泉・下森バレエ団、赤松優バレエ学園、今岡頌子・加藤きよ子ダンススペース、江川バレエスクール、大垣バレエスクール、藏本誠子バレエスクール、酒井マリバレエ・スタジオ、貞松・浜田バレエ団・バレエ学園、sAtsuki Ballet、シュエットKOBE/バレエスタジオ、ジュエル・バレエスタジオ、竹内みさよバレエ・アカデミー、田中バレエ・アート、波多野澄子バレエ研究所、バレエスタジオ bjacca、BMBバレエ団馬場美智子アカデミ・ド・バレエ、藤田佳代舞踊研究所、船附菜穂美バレエスクール、安田バレエスクール、山口けい子バレエスクール



●事業運営担当

ふれあいの祭典ひょうご洋舞フェスティバル実行委員会(兵庫県洋舞家協会) TEL:078-362-7086

## 詩のフェスタひょうご

開催日 10月14日(日)

会 場 ラッセホール

現代詩の理解を深め、多くの方に現代詩に興味をもってもらうことを趣旨として開催。

参加者から現代詩をこれから読んでみたい、詩について深く考えるよい企画だった等の感想があり、開催の成果があった。伊藤氏の講演会、伊藤氏と平田氏の対談の企画は成功したと考える。

①詩人伊藤比呂美的講演会

②伊藤比呂美と詩人平田俊子の対談

③朗読会



●出演

伊藤比呂美(詩人)

平田俊子(詩人)



●事業運営担当

詩のフェスタひょうご実行委員会(兵庫県現代詩協会) TEL:0798-53-0686

## ひょうご大茶会

開催日 10月14日(日)

会 場 兵庫県公館

明治の香り漂う兵庫県の迎賓館である兵庫県公館の秋の一般公開にあわせて実施し、県民の茶道に関する関心を高め、お茶を通じて日本の伝統文化にふれるとともに、交流の輪が広がる場を設けることを目的に開催した。

有料茶席(担当:武者小路千家流、裏千家流、表千家流)では、各流派による至芸が披露された。ふれあい茶席(担当:小笠原流煎茶道)では、誰でも気軽に参加できる無料茶席として、多くの方に茶道の魅力を感じていただいた。

複数の流派の茶席を体験でき、それぞれの趣を味わえることから、茶道愛好家に好評をいただくとともに、日頃茶道に親しむ機会のない方にとっても、茶道に触れるきっかけをつくることができた。また、公館の優雅な雰囲気の中、茶席を通じた交流を深めていただくことができた。



●出演

《有料茶席》①武者小路千家流 ②裏千家流 ③表千家流

《ふれあい茶席(無料茶席)》④小笠原流煎茶道

《その他の流派》⑤古儀茶道藪内流 ⑥湖月庵流 ⑦御所流 ⑧照浪庵小笠原流 ⑨瑞穂流 ⑩風韻社流



●事業運営担当

ふれあいの祭典大茶会実行委員会(兵庫県芸術文化課) TEL:078-362-3171

# ひょうご日本民謡フェスティバル

開催日 10月14日(日)

会場 新長田ピフレホール

今年度は特別ゲストを招くことにより、来場者も多く会場を満席にすることができた。

●出演

- ①明石市民謡連合会三味線部 ②あじさい会 ③池上美佐子 ④藤本豊佐代会 ⑤秀奥会 ⑥長谷歩美  
⑦花水木 ⑧秀美朝会 ⑨福井幸子 ⑩睦実会 ⑪藤の音会 ⑫石田陽子 ⑬玉琇会 ⑭智乃会 ⑮飯原キミエ  
⑯遠藤孝 ⑰和集樂会 ⑱あゆみ会 ⑲大西正信 ⑳昇勢会 ㉑神戸やよい民謡会 ㉒藤本嘉彦 ㉓若草民謡会  
㉔鳳英会 ㉕清田六男 ㉖みやたき会 ㉗神戸滝乃民謡会 ㉘藤井房枝 ㉙静女会 ㉚三津隆会

●特別ゲスト

木島一清、木島ユタカ、翔田ひかり、下坂龍志

●事業運営担当

ひょうご日本民謡フェスティバル実行委員会(日本民謡民舞兵庫県連合会) TEL:078-861-4583



## 全国手工芸コンクール in ひょうご

開催日 10月18日(木)～10月21日(日)

会場 兵庫県民会館 県民アートギャラリー

手工芸は、女性の手によって、手から手へと伝えられ今日も私たちの生活の中に息づいている。女性のふだんの生活の中から創り出された、心のぬくもりが伝わる手づくりの作品を未来に伝えようと、女性を対象とした全国的にもユニークなコンクールを開催。

兵庫県政150周年記念事業として、過去の文部科学大臣賞受賞者と当コンクール審査員の作品を展示し、兵庫県政150周年記念賞を贈呈した。

全国からの多彩な応募作品全てを展示し、県内外から多くの方が来場され、一堂に並べられた作品に大変満足された。

●応募数 193点

紙工芸 21点、布工芸 64点、糸工芸 26点、工芸I 48点、工芸II 34点

●招待 17点

合計210点

●受賞者 特別賞19名、優秀賞37名

【文部科学大臣賞】月坂 和子

【兵庫県知事賞】半田まゆみ

【兵庫県政150周年記念賞】井上 深雪 他



●事業運営担当

(公財)兵庫県芸術文化協会 TEL:078-321-2002

## 兵庫県いけばな展(神戸展)

開催日 10月25日(木)～30日(火)

会場 大丸ミュージアム(神戸)

日本の伝統文化である「いけばな」。兵庫県いけばな協会各流派家元・代表者による作品を展示。

今年は当協会65周年記念及び兵庫県政150周年事業として、全国よりいけばな作家16名を招待し、「いけばな」の魅力を伝えた。

また、「兵庫の花」コーナーを設け、県オリジナルの菊や県の特産品であるカーネーションなど、兵庫の特徴ある「花材」を紹介。「子どもいけばな体験教室」も開催し、次世代への継承につなげた。

●出品

兵庫県いけばな協会29流派の役員 90名

県外からのいけばな作家 16名

●事業運営担当

ふれあいの祭典いけばな展実行委員会(兵庫県いけばな協会) TEL:078-341-7711(内線2854)



# ひょうご俳句フェスティバル

開催日 11月23日(金・祝)

会場 神戸市立新長田勤労市民センター 大会議室

広く俳句の優秀な作品を募り、俳句の創作意欲を刺激し、芸術文化活動の振興を図る事を目指して開催した。当日は170名にものぼる俳句を愛する参加者がつめかけ、入選者の作品の披講、表彰を行い、選者による講評を行った。

アトラクションとして国際浮世絵学会常任理事中右 瑛氏に「謎がいっぱい浮世絵の世界—写楽・北斎ミステリー—」という題目で講演いただいた。

最後に、当日受け付けた句についての披講、表彰、講評を行い、大会は盛会裡に終了した。

●出演

講演:国際浮世絵学会常任理事 中右 瑛氏 「謎がいっぱい浮世絵の世界—写楽・北斎ミステリー—」

●出品

《一般の部》1402句 《ジュニアの部》1900句

●受賞者

【文部科学大臣賞】中村 雅子

【兵庫県知事賞】(一般)公江 耀子 (ジュニア)八柄 実穂 他

●事業運営担当

ふれあいの祭典ひょうご俳句フェスティバル実行委員会(兵庫県俳句協会) TEL:078-583-9447



## 兵庫県いけばな展(三木市会場)

開催日 平成30年11月24日(土)・25日(日)

会場 三木市立市民活動センター

「いけばな」を広く県民の方々に鑑賞していただくとともに、技術の研鑽を図り、芸術文化の発展に寄与することなどを目的に、いけばな展を開催した。三木市いけばな協会をはじめ、兵庫県、西脇市、小野市、加西市、多可町の各いけばな協会の会員171人が出展し、20以上の流派の粋を極めた作品が一堂に展示された華展では、約2300人の来場者に、日本の伝統文化である「いけばな」の素晴らしさにふれていただくとともに、三木市茶道協会の協力を得て設けたお茶席では安らぎのひと時を過ごしていただいくことができた。

シンプルで見やすい大きさの花席配置を心掛けたこともあり、「見やすかった」「自分の制作に大変参考になった」などの感想もいただき、「いけばな」の魅力を十分に感じていただくとともに、いけばなに親しむ機運の高揚の一助になったものと思う。

また、兵庫県政150周年記念事業として、県立播磨農業高校の生徒が作った切花を使って子どもいけばな体験教室を実施し、その作品を展示した。展示は来場者にも好評で、子どもたちにより一層「いけばな」への興味と関心をもってもらうことができ、古来から受け継がれてきたいけばなの伝統が、次世代に継承されることを期待している。



●出品

①兵庫県いけばな協会 ②三木市いけばな協会 ③西脇市いけばな協会 ④小野市いけばな協会 ⑤加西市いけばな協会 ⑥多可町いけばな協会

●事業運営担当

兵庫県いけばな展三木市実行委員会(三木市教育委員会文化・スポーツ課) TEL:0794-82-2000(代)

## 兵庫県交響楽祭

開催日 11月25日(日)

会場 たつの市総合文化会館 赤とんぼ文化ホール 大ホール

たつの市の小学生から大人の団体及び兵庫県オーケストラ協議会のアマチュアオーケストラ(11団体)が集い、音楽を通して地域文化の向上をめざし、相互交流とあわせて技術を研鑽し、オーケストラの楽しさと感動の場を鑑賞者とともに分かち合うことを目的として、日頃の活動の成果を発表する祭典の開催となった。

客席は開会から閉会までほぼ満席で盛大に開催し、出演者、来場者も満喫した一日であった。



●出演 全11団体

①西播磨交響楽団 ②福井ミュージックファミリー ③たつの市立龍野小学校吹奏楽部 ④たつの市立御津小学校金管バンド部 ⑤尼崎市民交響楽団(尼崎市) ⑥創価学会兵庫管弦楽団(尼崎市) ⑦西宮市少年少女合奏団(西宮市) ⑧淡路フィルハーモニー管弦楽団(洲本市) ⑨関西学院交響楽団(西宮市) ⑩親和中・女子高校器楽部(神戸市) ⑪宝塚市交響楽団(宝塚市)

●事業運営担当

兵庫県交響楽祭たつの市実行委員会(公財)童謡の里龍野文化振興財団 TEL:0791-63-1888

# 兵庫県川柳祭 in 神戸

開催日 12月2日(日)

会場 兵庫県民会館 けんみんホール

全国から川柳作品を募り、一般の部に506名、ジュニアの部に2,255名の参加を得て、選考委員会による文部科学大臣賞、兵庫県知事賞並びに各賞の決定、大会当日の発表、表彰及び講評を行った。また、大会当日には県内及び全国各地から257名の来場者を得て、大会実行委員会賞、兵庫県川柳協会賞を発表、表彰した。

兵庫県政150周年記念事業として「ふれあいの祭典兵庫県川柳祭30年記念作品集」を発行することができ、来場者に配布して頗る好評を博した。

平成の最終を飾る本年の兵庫県川柳祭を、例年以上の大きな成果を得て無事終えること出来たことを関係者各位に感謝申し上げたい。



●出 演

民謡と津軽三味線 デュオHadoh

●出 品

《一般》 506名 《ジュニア》 2,255名 《当日受付》 257名

●受賞者

【文部科学大臣賞】(一般)盧 光来

【兵庫県知事賞】(一般)宮田 賢三、井塚 ミハル、矢吹 我楽 (ジュニア)是川 恵華

【兵庫県議会議長賞】(一般)小池 一恵、中川 一

【兵庫県教育委員会賞】(ジュニア)梨木 結衣 他



●事業運営担当

兵庫県川柳祭神戸市実行委員会(兵庫県川柳協会) TEL:078-965-1575

## ひょうご合唱の祭典

開催日 12月2日(日)

会場 篠山市立たんば田園交響ホール

各グループとも、互いの合唱を鑑賞することで、刺激を受けながらも今後の活動の参考となったと思われる。

また、スタッフとして地元合唱団員を起用し、各団体に割り当ててお世話をすることで、地元団体と県内団体との情報交換を図ることができた。

さらに、今回は特別にプロの合唱団「里井宏次&ザ・タロー・シンガーズ」を招き、プロの歌声を堪能することでさらなる合唱の魅力に気づき、県内合唱団の多彩な合唱を鑑賞することにより、市民の合唱に対する関心を高めることができた。



●出 演

①シルバーエコーささやま(篠山市) ②コーラスやまびこ(丹波市) ③コール・トワ(篠山市) ④多可少年少女合唱団(多可町) ⑤三木市高齢者大学コーラス部「カトレア」(三木市) ⑥三田松聖高等学校コーラス部(三田市) ⑦市島さつきコーラス・丹波フラウエンコール合同演奏 ⑧混声合唱団フィオーレ(丹波市) ⑨男声合唱団エル・ドーラード(豊岡市) ⑩ハーモニーAi(相生市) ⑪神戸少年少女合唱団(神戸市) ⑫あわじ混声合唱団(洲本市) ⑬女声合唱団Stella(三田市) ⑭男声合唱団丹波國(篠山市) ⑮里井宏次&ザ・タロー・シンガーズ(ゲスト)



●事業運営担当

ひょうご合唱の祭典篠山市実行委員会(篠山市立たんば田園交響ホール) TEL:079-552-3600

## 兵庫短歌祭

開催日 12月8日(土)

会場 加西市健康福祉会館

1300年の伝統をもつ短歌の普及と次世代への継承を目的とし、7月には短歌作品の募集を開始し、前年を超える1,018首の作品を受付。10月末に審査会を開催し、優秀作品90首を選出した。

オープニングでは加西市ごども狂言塾の公演「根日女」が短歌祭に花を添えた。

会場外では、受賞者の作品展示を実施し、多くの来場者に鑑賞いただくなど好評だった。

また、シンポジウム「短歌・俳句・現代詩のあいだ」では、俳句や現代詩まで幅広い短詩型文学について語り合うなど、有意義な時間となった。



●出 演

オープニング:加西市こども狂言塾

シンポジウム「短歌・俳句・現代詩のあいだ」 コーディネーター:林 和清氏(歌人)

パネリスト:高橋 隆郎氏(詩人)、小川 軽舟氏(俳人)、山下 泉氏(歌人)

●出 品

《一般》440首 《ジュニア》578首

●受賞者

【文部科学大臣賞】高井 忠明

【兵庫県知事賞】(一般)三村 時枝 (ジュニア)中谷 紗乃 他



●事業運営担当

兵庫短歌祭加西市実行委員会(加西市ふるさと創造部・文化・観光・スポーツ課) TEL:0790-42-8773

## 兵庫ふれあい美術展

開催日 1月4日(金)～1月6日(日)

会場 県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー

兵庫ふれあい美術展は、新たな美の創造と世代や分野を超えた人々の交流の場として、美術の創作活動に親しむ県民の作品(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)を公募・展示し、美術鑑賞の機会の提供と積極的な創作活動を促進することができた。

●応募 合計504点

(日本画)44点 (洋画)258点 (彫刻)13点 (工芸)48点 (書)67点 (写真)74点

●受賞者 入賞作品42点 佳作作品26点 合計68点

【兵庫県知事賞】(日本画)田中 明美 (洋画)三方 艇彦 (彫刻)長島 稔

(工芸)村上 満 (書)宮本 義夫 (写真)荒岡 浩志

【兵庫県政150周年記念賞】(日本画)山田 百代 (洋画)船井 美彦 (彫刻)古川 直人

(工芸)松丸 克代 (書)波多野 美貴子 (写真)金場 滋 他

●事業運営担当

(公財)兵庫県芸術文化協会 TEL:078-321-2002



## ひょうご民俗芸能祭 in 赤穂

開催日 2月17日(日)

会場 赤穂市文化会館ハーモニーホール 大ホール・展示室

民俗芸能団体を招き、兵庫の文化を広く紹介した。また、他地域の伝統芸能との交流を通じて伝統文化を地域の文化資源として再評価し、保存・継承・活用する契機とともに、地域の文化力の向上と活性化を図る目的で「ひょうご民俗芸能祭 in 赤穂」を開催した。

当日は、快晴にも恵まれて多くの観客がホールに来場し、出演者も熱の入った演技を披露した。県内の多様な団体・出演者により、なかなか見ることのない郷土色豊かな各地域の芸能を満喫していただくことができた。

地元赤穂市から出演した6団体が一堂に会する機会は珍しく、市外からの観客のみならず、地元から来場した観客にも喜んでいただけた。

また兵庫県政150周年記念事業として、「ひょうごの祭り写真展」を開催した。県内各地の祭りの迫力ある写真やユニークな写真など、思い思いの一瞬を切り取った写真に多くの観客が見入るとともに思いを馳せていた。

●出演団体

①兵庫の唄名人選(上木政明、本城友子、唐津みさゑ、喜舎場武司、森崎てる子)

②赤穂塩漬音頭保存会

③坂越盆踊り保存会

④日本民謡山波会

⑤民舞碧月会

⑥春日戦国太鼓保存会

⑦塩屋たてくわ踊り保存会

⑧恵比寿大黒舞保存会

⑨鳥撫荒神社 天和獅子舞保存会

⑩赤穂濱鋤唄保存会



●事業運営担当

ひょうご民俗芸能祭赤穂市実行委員会(赤穂市教育委員会生涯学習課) TEL:0791-43-6858

## －ふれあいの祭典－ 県民文化普及事業

ふれあいの祭典は、平成元年より「交流と共生」を基本理念に、多くの県民の皆様のご参加をいただき、県内の文化振興と県民の感動と交流の輪を広げてきた。

平成20年度からは、こうした成果を地域に定着・発展させていく必要性から、開催地域が中心となり音楽、舞踊、演劇、美術、伝統芸能、文学等の県民の多彩な文化活動の発表の場として、また、身近な場所で県民が芸術文化に親しみ、交流の輪を広げ、地域文化の裾野を広げる場として、県内各地で－ふれあいの祭典－県民文化普及事業を開催している。

### －ふれあいの祭典－ 県民文化普及事業HP

<http://www.hyogo-arts.jp/fureai/>

### お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県芸術文化協会  
文化振興部事業第1課  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3  
☎078-321-2002  
E-mail sinkoubu@hyogo-arts.or.jp